

# 環境経営レポート



未来へつなげる快適な環境づくり

(運用期間: 令和5年1月1日～令和5年12月31日)

第11号

## 株式会社清水組

作成日: 令和6年3月15日

# 目 次

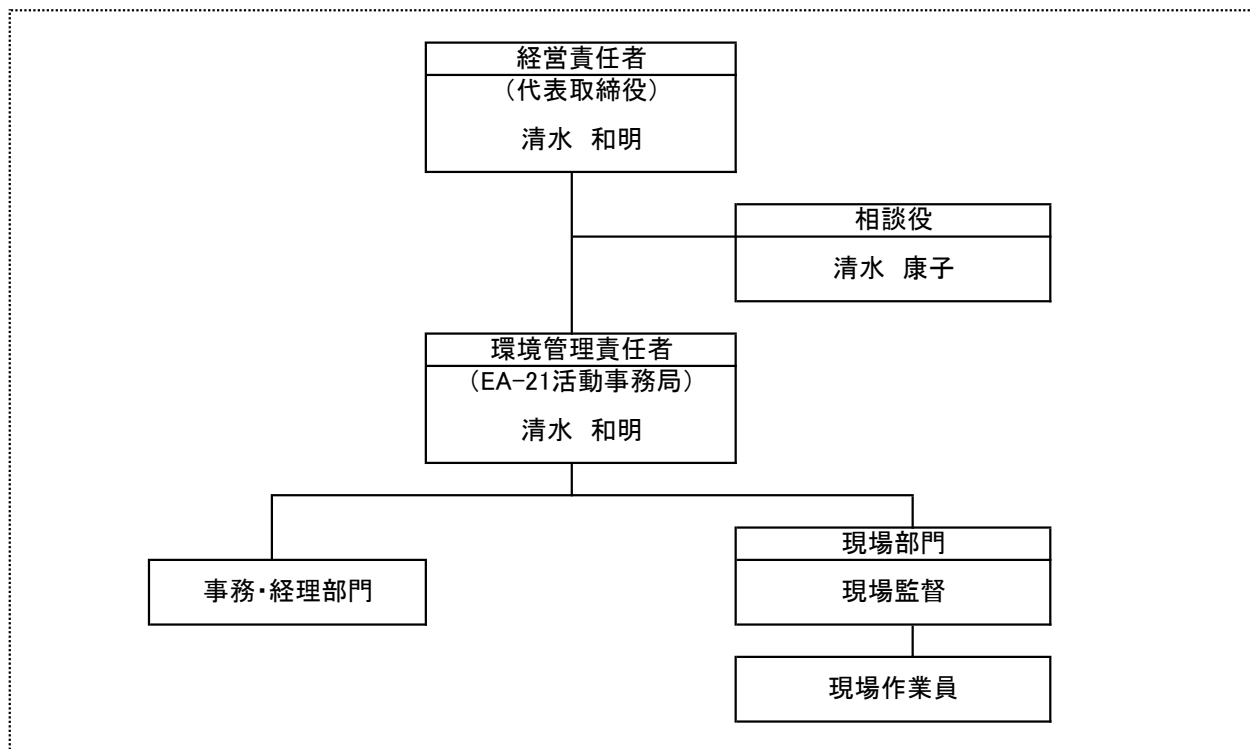
I. 組織の概要	.....	P 1
II. 実施体制	.....	P 2
III. 環境経営方針	.....	P 3
IV. 環境経営目標の実績・取組結果並びに次年度の環境経営目標	.....	P 4
V. 環境経営計画の取組結果とその評価, 及び次年度の環境経営計画	.....	P 6
VI. 当社の取組み	.....	P 7
VII. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟など	.....	P 8
VIII. 代表者による全体の評価と見直し・指示	.....	P 9

# I 組織の概要

1. 事業者名 株式会社清水組
2. 代表者氏名 代表取締役 清水 和明
3. 所在地 本社：静岡県静岡市清水区小島町432-1-1  
資材置場 1：静岡県静岡市清水区小島町997-9
4. 連絡先 TEL 054-393-2062 FAX 054-393-3663  
E-mail: shimizu1970@abeam.ocn.ne.jp
5. 環境管理責任者 清水 和明
6. 事業内容（認証・登録の範囲）  
建設業 1. 土木工事業 2. とび・土木工事業 3. 舗装工事業 4. 水道施設工事業  
静岡県知事許可(特・般-29)第3758号 有効期限 令和9年10月11日
7. 従業員数 21名
8. 事業の規模
  - ① 設立 昭和54年10月2日（創業 大正8年3月10日）
  - ② 事業年度 令和5年度（令和5年1月1日から令和5年12月31日まで）
  - ③ 事業規模

活動規模	単位	令和3年	令和4年	令和5年
売上高	万円	31,237	34,134	43,558
従業員	人	21	21	21
事務所床面積	m <sup>2</sup>	204.31	204.31	204.31
倉庫床面積	m <sup>2</sup>	259.2	259.2	259.2
資材置場	m <sup>2</sup>	1,718	1,718	1,718

## II 実施体制



### <環境管理組織における機能>

#### 経営責任者

- ① 環境経営全般に対する責任と権限
- ② 環境方針の作成と社員への周知
- ③ 環境管理責任者の任命
- ④ 経営における課題とチャンスを整理し、明確にする
- ⑤ 全体の評価と見直し
- ⑥ 効率的な実施体制の構築と全従業員への周知
- ⑦ EA21の環境経営システムの運用のために必要となる経営資源(人・もの・資金・情報など)を用意する

#### 環境管理責任者

- ① 環境経営活動の推進
- ② 環境経営目標及び環境経営計画の作成
- ③ 環境経営推進会議の実施
- ④ 経営者への進捗報告

#### EA-21活動事務局

- ① 各部門のデータのまとめ
- ② 環境経営計画の予実績管理
- ③ 環境負荷・環境への取組みの自己チェックの実施
- ④ 環境管理責任者補佐
- ⑤ 環境関連法規等最新版管理
- ⑥ 環境上の緊急事態の想定と対応策の作成。全体での試行・訓練の実施
- ⑦ 文書・記録の管理

#### 各部門

- ① 環境経営計画の実施
- ② 月別部門データの集計・報告
- ③ 問題点の把握と是正の実施
- ④ 推進会議の出席
- ⑤ 従業員教育

## Ⅲ 環境経営方針

### 《環境理念》

昨今の深刻化する地球規模の環境悪化を防ぎ、当社は建設業の活動を通し、次世代に緑豊かな環境と住みよい社会を残す事を目的とします。社員一丸となって法令順守の元、環境への取組を実施・継続する事を推進し、環境負荷を継続的に削減していく事に努めます。

### 《環境方針》

1. 事業活動が環境に与える影響を把握し、環境保全に視点を置いた活動を推進いたします。
  - ① CO<sub>2</sub>削減の為の省エネ活動に取り組みます。
  - ② 廃棄物の削減活動と再資源化推進の活動に取り組みます。
  - ③ 水資源を有効活用し、節水に努めます。
  - ④ グリーン商品の調達活動に取り組みます。
  - ⑤ 建設工事は環境に配慮した工事を実施いたします。
  - ⑥ 生物多様性の保全と持続可能な利用の為の取り組みに努めます。
2. 環境に配慮した活動の目標を設定し、環境経営目標の達成状況及び活動経営計画の実施状況を定期的に確認・評価し、環境経営のシステムを継続的に改善致します。
3. 環境に関する法規制を遵守致します。
4. 全社員が環境経営方針を理解し、それを周知徹底すると共に、この方針を掲示し社員教育を計画的に実施し、環境問題への意識向上を図ります。  
また、社外に環境経営レポートを公開し、利害関係者のみならず社会とのより良いコミュニケーションを図って行きます
5. 環境経営を推進します。  
ICT化による設計、工事の効率的運用を図ることにより、請負建設工事の増加を図ることなど、環境経営を推進します。

株式会社清水組

代表取締役 清水 和明



制定日：平成22年6月1日

改訂日：令和5年1月1日

## IV 環境経営目標の実績・取組結果並びに次年度の環境経営目標

### ①運用期間(令和5年1月～令和5年12月)の環境目標の実績

項目	単位	基準期間		運用期間			
		令和4年度		令和5年度			
		基準値	目標削減率	目標値	実績値	評価	
二酸化炭素排出量(事務所)	kg-CO <sub>2</sub>	7,673	1%	9,694	10,240	×	
内訳	電力	kWh	6,866	1%	8,674	7,818	○
	ガソリン	L	978	1%	1,236	1,714	×
	軽油	L	812	1%	1,026	967	○
二酸化炭素排出量(建設現場)	kg-CO <sub>2</sub>	101,476	1%	128,196	182,975	×	
内訳	ガソリン	L	8,912	1%	11,259	11,923	×
	軽油	L	31,318	1%	39,564	60,199	×
廃棄物排出量	一般廃棄物排出量	kg	213	1%	269	300	×
	産業廃棄物排出量	kg	10,250,150	1%	12,949,166	21,508,273	×
水道使用量	m <sup>3</sup>	住居との共同利用のため計測不可。節水活動は継続する。					
グリーン商品 購入件数	件	9	/	9	9	○	
建築廃材 リサイクル率	%	100	/	100	100	○	
創意工夫 実施率	%	100	/	100	100	○	
原単位の算出根拠	売上	令和4年度	令和5年度		⇒	売上増減率	
		341,345	435,582			<b>1.28</b>	

「購入電力」の二酸化炭素排出係数は、「0.482(kg-CO<sub>2</sub>/kWh)」(平成27年 中部電力)を使用

### <評価>

ガソリン・軽油	原因	受注件数の増加に伴い使用量が増加した。
	是正	エコドライブを継続しつつ、省エネルギー型の機械の導入を推進していく。
一般廃棄物	原因	受注件数の増加に伴い排出量が増加した。
	是正	これまでの取り組みは継続しつつ、電子化も徐々に進めていく。
産業廃棄物	原因	受注件数の増加に伴い排出量が増加した。
	是正	分別やりサイクルの推進等、これまでの取り組みを継続していく。

### ②次年度の環境経営目標 変更なし

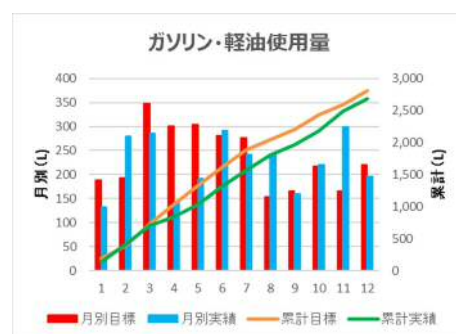
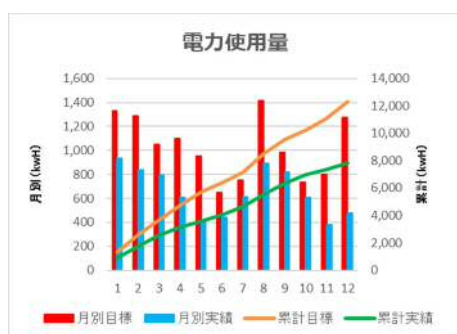
# IV 環境経営目標の実績・取組結果並びに次年度の環境経営目標

## ③中長期の環境目標

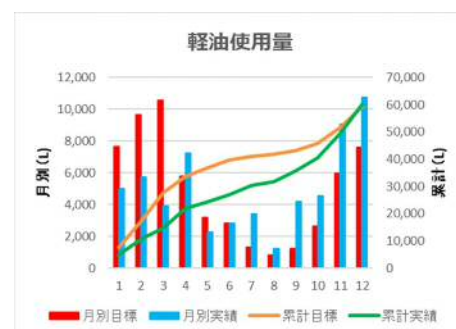
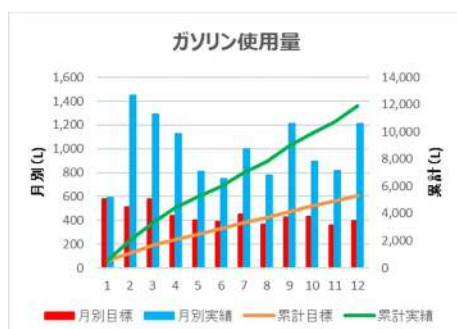
項目	単位	基準 (令和4年度)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
二酸化炭素排出量(事務所)	kg-CO <sub>2</sub>	7,673	-2%	-3%	-4%	-5%	-6%	
内訳	電力	kWh	6,866	-2%	-3%	-4%	-5%	-6%
	ガソリン	L	978	-2%	-3%	-4%	-5%	-6%
	軽油	L	812	-2%	-3%	-4%	-5%	-6%
二酸化炭素排出量(建設現場)	kg-CO <sub>2</sub>	101,476	-2%	-3%	-4%	-5%	-6%	
	ガソリン	L	8,912	-2%	-3%	-4%	-5%	-6%
	軽油	L	31,318	-2%	-3%	-4%	-5%	-6%
廃棄物排出量	一般廃棄物排出量	kg	213	-2%	-3%	-4%	-5%	-6%
	産業廃棄物排出量	t	10,250,150	-2%	-3%	-4%	-5%	-6%
水道使用量	m <sup>3</sup>	住居との共同利用のため計測不可。節水活動は継続する。						
グリーン商品 購入件数	件	9	9	9	10	10	10	
建築廃材 リサイクル率	%	100	100	100	100	100.0	100.0	
創意工夫 実施率	%	100	100	100	100	100	100	

「購入電力」の二酸化炭素排出係数は、「0.482(kg-CO<sub>2</sub>/kWh)」(平成27年 中部電力)を使用

事務所



現場





# V 環境経営計画の取組結果とその評価、及び次年度の環境経営計画

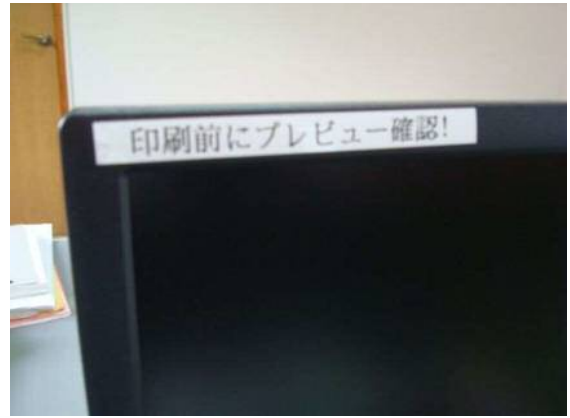
大区分	区分	実施項目	責任者	目標値	実施スケジュール（上段：計画、下段：実績）												評価と是正(年間)	
					1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
購入電力削減	事務所	①エアコンの温度管理 (夏期28℃、冬期23℃)	清水	夏場28℃ 冬場23℃	冬場設定	冬場設定	冬場設定	確認	確認	夏場設定	夏場設定	夏場設定	確認	確認	冬場設定	暑い暑さや寒さの日は体調を優先した。 次年度も継続していく。  コロナの影響が残っており、各人が有効的に利用し、定期的な換気も行っている。 次年度も継続していく。  意識できている。 次年度も継続していく。  定期的な目視点検と掃除により、特に問題はなかった。 次年度も継続していく。  従業員の意識も高まり、徹底されている。 次年度も継続していく。  従業員の意識も高まり、徹底されている。 次年度も継続していく。		
				評価と是正	リモコンに温度設定が徹底され良好			リモコンに温度設定が徹底され良好			暑暑日には温度設定が厳格になっていた			リモコンに温度設定が徹底され良好				
		電気使用量 1%削減		確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認		確認	
		評価と是正		従業員同士の声掛けにより良好			従業員同士の声掛けにより良好			従業員同士の声掛けにより良好			従業員同士の声掛けにより良好					
		③クールビズ・ウォームビズの推奨		電気使用量 1%削減	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認		確認	確認
		評価と是正		体面に合わせて取り組めた			体面に合わせて取り組めた			体面に合わせて取り組めた			体面に合わせて取り組めた					
	④エアコンフィルターの清掃	電気使用量 1%削減	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認			
	評価と是正	定期的に取り組んでいる			定期的に取り組んでいる			定期的に取り組んでいる			定期的に取り組んでいる							
	⑤PC・蛍光灯の不使用时電源OFF	電気使用量 1%削減	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認			
	評価と是正	従業員同士の声掛けにより良好			従業員同士の声掛けにより良好			従業員同士の声掛けにより良好			従業員同士の声掛けにより良好							
	⑥ブラインド・カーテンで熱の出入りを調節する	電気使用量 1%削減	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認			
	評価と是正	従業員同士の声掛けにより良好			従業員同士の声掛けにより良好			従業員同士の声掛けにより良好			従業員同士の声掛けにより良好							
ガソリン・軽油使用量削減	事務所現場	①全車両のエコドライブの周知徹底	清水	燃費向上	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	現場より車両使用量が増えたものの、エコドライブの意識は出ている。 次年度も継続していく。  意識できている。 次年度も継続していく。  天候と体調に左右されるものの、意識は出ている。 次年度も継続していく。  車内表記もあり、意識は出ている。 次年度も継続していく。  意識できている。 次年度も継続していく。  タブレット等の利用により工期短縮の意識が浸透している。 次年度も継続的に取り組み、車両使用削減を推進する。  現場より車両使用量が増えたものの、全体としては取り組んでいる。 次年度も継続していく。		
				評価と是正	燃費向上			燃費向上			燃費向上			燃費向上				
		ガソリン・軽油使用量1%削減		確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認		確認	
		評価と是正		不要な荷物を下ろす、過積載がないか出発前に確認			不要な荷物を下ろす、過積載がないか出発前に確認			不要な荷物を下ろす、過積載がないか出発前に確認			不要な荷物を下ろす、過積載がないか出発前に確認					
		②不要なエアコンを控える		燃費向上	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認		確認	確認
		評価と是正		エアコンを控えている			エアコンを控えている			暑暑によりエアコンの使用が増えた			エアコンを控えている					
	③不要なアイドリングの禁止	ガソリン・軽油使用量1%削減	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認			
	評価と是正	アイドリングを禁止している			アイドリングを禁止している			アイドリングを禁止している			アイドリングを禁止している							
	④急発進/急停止をしない	ガソリン・軽油使用量1%削減	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認			
	評価と是正	急発進/急停止をしない			急発進/急停止をしない			急発進/急停止をしない			急発進/急停止をしない							
	③工期短縮による二酸化炭素排出量の削減	燃費向上	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認			
	評価と是正	工期短縮による削減			工期短縮による削減			工期短縮による削減			工期短縮による削減							
②スケジュール管理による車両使用回数の削減	ガソリン・軽油使用量1%削減	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認				
評価と是正	スケジュール管理による削減			スケジュール管理による削減			スケジュール管理による削減			スケジュール管理による削減								
廃棄物削減	一般廃棄物(事務所)	①コピー用紙の両面使用	清水	廃棄物 1%削減	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	パソコンへの表記等の影響で徹底できている。 次年度も継続していく。  意識できている。 次年度も継続していく。  意識できている。 次年度も継続していく。  取り組んでいる。 次年度も継続していく。		
				評価と是正	両面使用を徹底している			両面使用を徹底している			両面使用を徹底している			両面使用を徹底している				
		②プレビューチェックによる無駄な印刷の防止		廃棄物 1%削減	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認		確認	
		評価と是正		プレビューチェックを徹底している			プレビューチェックを徹底している			プレビューチェックを徹底している			プレビューチェックを徹底している					
	③カラーコピーの使用を制限する	廃棄物 1%削減	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認			
	評価と是正	カラーコピーの使用を制限している			カラーコピーの使用を制限している			カラーコピーの使用を制限している			カラーコピーの使用を制限している							
	④廃棄物の分別とリサイクル	適正な処理	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認			
	評価と是正	分別とリサイクルを徹底している			分別とリサイクルを徹底している			分別とリサイクルを徹底している			分別とリサイクルを徹底している							
	産業廃棄物(現場)	①資源ごみの分別を徹底する	清水	適正な処理	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認		確認	
				評価と是正	資源ごみの分別を徹底している			資源ごみの分別を徹底している			資源ごみの分別を徹底している			資源ごみの分別を徹底している				
	②マニフェストによる廃棄物適正処理	適正な処理	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認			
	評価と是正	マニフェストによる適正処理を徹底している			マニフェストによる適正処理を徹底している			マニフェストによる適正処理を徹底している			マニフェストによる適正処理を徹底している							
排水量の削減	水使用量	①トイレの水を無駄に流さない	清水	水使用量削減	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	取り組んでいる。 次年度も継続していく。  目標により点検できている。 次年度も継続していく。  コロナ禍もあり意識は向上している。 次年度も推奨していく。  現状通りで問題はない。 次年度も継続していく。		
				評価と是正	トイレの水を無駄に流さないようにしている			トイレの水を無駄に流さないようにしている			トイレの水を無駄に流さないようにしている			トイレの水を無駄に流さないようにしている				
		②水道配管からの漏水を定期的に点検する		適正な処理	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認			
		評価と是正		漏水を定期的に点検している			漏水を定期的に点検している			漏水を定期的に点検している			漏水を定期的に点検している					
	③マイボトル等の使用	水使用量削減	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認				
	評価と是正	マイボトル等の使用を推奨している			マイボトル等の使用を推奨している			マイボトル等の使用を推奨している			マイボトル等の使用を推奨している							
	④雨水利用 (建設道具等の洗浄等) (街路樹・公園緑化工事等)	水使用量削減	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認			
	評価と是正	雨水利用を推進している			雨水利用を推進している			雨水利用を推進している			雨水利用を推進している							
グリーン購入率向上	①グリーン購入法適合商品の購入	清水	9件	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	現状通りで問題はない。 次年度も継続していく。			
			評価	意識できている			意識できている			意識できている			意識できている					
環境に配慮した自社の取り組み	建築廃材リサイクル	清水	①建設副産物の削減・再利用・分別リサイクルの徹底	適正な処理	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	取り組んでいる。 次年度も継続していく。  弊社により整理しきれないタイムインがあまり、すでに取り組んでいる。 次年度も継続していく。  現状通りで問題はない。 次年度も継続していく。  現状通りで問題はない。 次年度も継続していく。			
			②工事残材の整理	適正な処理	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認				
	創意工夫	①環境負荷の少ない工法・材料・機械の導入の検討	適正な処理	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認				
		②工事施工段階での創意工夫(環境・住民配慮)	適正な処理	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認				
	法令遵守	①廃棄物保管場所の表示	清水	法令遵守	遵守状況確認	遵守状況確認	遵守状況確認	遵守状況確認	遵守状況確認	遵守状況確認	遵守状況確認	遵守状況確認	遵守状況確認	遵守状況確認		遵守状況確認	現状通りで問題はない。 次年度も継続していく。	
		②マニフェスト伝票の適正運用		法令遵守	遵守状況確認	遵守状況確認	遵守状況確認	遵守状況確認	遵守状況確認	遵守状況確認	遵守状況確認	遵守状況確認	遵守状況確認	遵守状況確認		遵守状況確認		
その他	①環境関連行事	清水	適正運用	環境教育	環境教育	環境教育	環境教育	環境教育	環境教育	環境教育	環境教育	環境教育	環境教育	環境教育	現状通りで問題はない。 次年度も継続していく。			
	②環境マネジメントシステム		適正運用	環境教育	環境教育	環境教育	環境教育	環境教育	環境教育	環境教育	環境教育	環境教育	環境教育	環境教育				



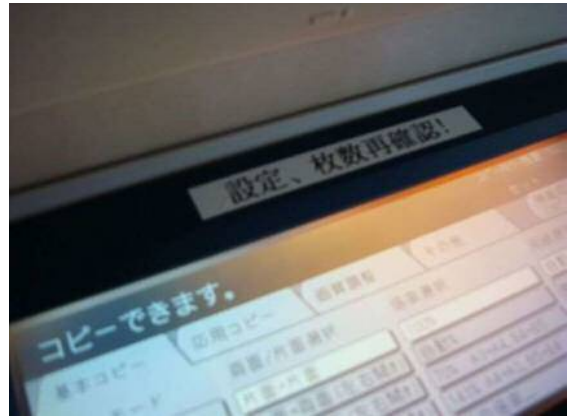
# VI 当社の取組み

## ◆社内注意書きで社員の意識づけ◆

パソコン



コピー機



社用車



エアコン



## Ⅶ 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

### 1. 環境関連法規の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

評価日 令和6年3月15日

評価者 環境管理責任者 清水 和明

法規・条例・規制	条項	適用内容または規制基準値	備考	遵守評価	
廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	第6条の2第6項	市町のルールに従った分別と搬出及び業者委託	業者委託時は許可証確認(契約書作成が望ましい)	◎	
	第12条第2項	廃棄物の悪臭・飛散・地下浸透防止	保管場所での環境被害防止	◎	
	第12条第2項	産業廃棄物保管場所への掲示板の設置	掲示板設置(60cm×60cm以上の大きさ)	◎	
	第12条第5項	産業廃棄物運搬業者並びに処分業者との委託契約	契約書の締結及び保存	◎	
	第12条第9、10項	産業廃棄物多量排出事業者の処理計画及び実施状況報告	6月30日までに許可権者に報告(前年度発生量が千トン超のとき)	◎	
	第12条の2第8項	特別管理産業廃棄物管理責任者の選任	有資格者を選任(特管排出事業者のみ)	該当なし	
	第12条の3第1項	マニフェストの交付	A票(委託時、電子マニフェストは3日以内)	◎	
	第12条の3第2、6項	マニフェストの保管	A票～E票:5年間	◎	
	第12条の3第6項	マニフェストの期間内返却の確認	B2及びD票:90日以内、E票:180日以内	◎	
	第12条の3第7項	産業廃棄物管理票交付等状況報告	6月30日までに許可権者に報告(電子マニフェストは除外)	◎	
第12条の3第8項	産業廃棄物管理票の期間内未返却時の許可権者への報告	返却期間終了後30日以内に許可権者に報告	◎		
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	第8条	産業廃棄物管理責任者の設置	資格は問わない	◎	
	第10条	実地確認の実施と記録保存	処分委託先の年1回の実地確認と記録作成5年間保存(委託先が優良認定業者であるときは免除)	◎	
廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	第12条第5項	産業廃棄物排出事業者と収集運搬契約	契約書の締結及び保存	該当なし	
	第12条の3第3項	委託者へのマニフェストの返却	B2票を業務終了から10日以内に返却	該当なし	
	第12条の3第9項	委託者からのマニフェストの保管	B1票及びC2票を5年間保存	該当なし	
	第14条第2項	収集運搬業許可の許可期限の確認	許可期限前に更新手続き	該当なし	
	第14条第12項(第12条第1項)	処理基準の遵守(廃棄物の悪臭・飛散防止等)	車両荷台にシートを覆う等	該当なし	
	第14条第12項(第12条第1項)	収集運搬車両への表示	産業廃棄物収集運搬車・名称・番号を車両両側面へ表示	該当なし	
	第14条第17項	帳簿の備え付け及び5年間の保存	業務年月日、排出者名、管理票番号、数量、運搬先等を記載した帳簿	該当なし	
第14条の2第3項	変更届の提出	役員・車両等に変更があったとき(10日以内)	該当なし		
静岡県産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行細則	第22条	前年度における収集運搬実績の報告	6月30日までに知事に報告(電子マニフェストも含む)	該当なし	
建設リサイクル法(建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律)	第5条	建設業者の義務	分別の励行、リサイクルの推進	◎	
	第9条	対象建設工事受注者又は自主施工者の分別解体等の実施	解体工事-床面積合計80㎡以上 新築・増築工事-床面積合計500㎡以上 その他の工作物に関する工事(土木工事等-請負代金額500万円以上)	◎	
	第10条	対象建設工事の発注者又は自主施工者の対象工事の届出	発注者に工事計画等を説明し工事着手7日前までに市長に届出書を提出	◎	
	第12条	対象建設工事受注者の発注者への届出事項の説明		◎	
	第16条	対象建設工事受注者の再資源化等の実施		◎	
	第18条	対象建設工事の元請業者による発注者への特定建設資材廃棄物の再資源化工事等の完了報告	発注者への完了報告	◎	
	第31条	技術管理者の設置(解体工事の監督)		◎	
騒音規制法	第14条	特定建設作業の実施の届出	バックホウ(原動機定格出力80kW以上)を使用する作業	◎	
第15条	特定建設の届出改善勧告及び改善命令	規制基準の遵守(指定地域・時間帯規制)	◎		
振動規制法	第14条	特定建設作業の実施の届出	くい打機	◎	
第15条	特定建設の届出改善勧告及び改善命令	規制基準の遵守(指定地域・時間帯規制)	◎		
浄化槽法	第10条	浄化槽の保守点検及び清掃の実施	保守点検及び定期清掃の実施	◎	
	第5条	浄化槽の使用開始報告書の提出	使用開始から30日以内に県知事へ提出	◎	
	第7条	設置後の水質検査の実施	設置3ヶ月経過した日から5か月の間	◎	
第11条	指定検査機関による水質に関する検査の実施	法定検査の実施(1回/年)	◎		
家電リサイクル法(特定家庭用機器再商品化法)	第6条	特定家庭用機器廃棄物の収集・運搬をする者等への適切な引き渡し、料金の支払	指定家電(テレビ・冷蔵庫等)廃棄時のサイクル料金の支払	該当なし	
自動車リサイクル法(使用済自動車の再資源化等に関する法律)	第8条	使用済自動車の引渡義務		該当なし	
第73条	使用済自動車の引き取り業者への引き渡し	リサイクル料金の支払(廃車時)			
フロン排出抑制法(フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律)	第16条	冷凍空調機器:全ての第一種特定機器が対象 ①自身での「簡易点検(3ヶ月に1回以上)実施 圧縮機電動機定格出力に応じた有資格者による「定期点検」 ②空調機(50kW以上)1年に1回以上 ③空調機(7.5kW~50kW未満)3年に1回以上 ④冷凍冷蔵庫(7.5kW以上)1年に1回以上	①企業・法人の管理者が確認 ②、③、④ 有資格者による定期点検実施	◎	
	第41条	第一種特定製品廃棄等実施者の引渡義務	製品管理者のフロン類回収業者へのフロン類の引き渡し義務	◎	
建設業法	第3条の1	国土交通大臣に対する一般建設業の許可の申請		◎	
	第26条第1項	主任技術者の設置		◎	
	第26条第2項	監理技術者の設置		◎	
省エネ法(エネルギーの使用の合理化に関する法律)	第4条	エネルギー使用量の合計が1,500kl/年以上の事業者は届出	エネルギー使用量(原動機換算地)の把握	該当なし	
地球温暖化対策推進法	第25条	温室効果ガス算定排出量の報告	温室効果ガスの把握	◎	
水道法	第25条の2	指定給水装置工事事業者の指定	給水装置工事主任技術者	該当なし	
下水道法	第22条	設計者等の資格	技術士、第一種技術検定等	該当なし	
河川法	第50条第1項	ダムの適正な維持・操作、管理	ダム管理主任技術者	該当なし	
静岡県条例 静岡県生活環境の保全等に関する条例	第71条	騒音に係る特定建設作業の実施の届出(工事開始7日前)	鉄骨及び構りよりの組み立て作業	◎	
	第72条	改善勧告及び改善命令	規制基準の遵守	◎	
	第88条	振動に係る特定建設作業の実施の届出(工事開始7日前)	くい打機(振動規制法の特定建設作業に準ずる)	◎	
	第89条	改善勧告及び改善命令	規制基準の遵守	◎	
法令	リサイクル法(資源の有効な利用の促進に関する法律)	第4条	指定再資源化製品のリサイクル(適正廃棄)	パソコン、小型二次電池等の廃棄時	◎

### 2. 違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟や苦情は過去3年間ありませんでした。

## Ⅷ 代表者による全体の評価と見直し・指示

作成 令和6年3月15日

	項目	確認 : (必要に応じて評価・コメント記載)
1・見直し関連情報	1 エコアクション21文書	<input checked="" type="checkbox"/>
	2 環境経営目標及び目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> 令和4年度の実績値を基準とし、目標値を再設定した
	3 環境経営計画及び取り組み実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 同上
	4 環境関連法規要求一覧及び遵守状況	<input checked="" type="checkbox"/>
	5 外部コミュニケーション・対応記録	<input checked="" type="checkbox"/>
	6 問題点の是正・予防措置の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 現場に出る際の準備等について見直しをした
	7 取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	<input checked="" type="checkbox"/>
	8 その他( )	<input type="checkbox"/>

2・代表者による全体評価・見直し指示	<p>環境への意識の向上は感じられ、売り上げに対する事務所の二酸化炭素排出量等の数値は減少している。現場のガソリン・軽油使用量は増加しているが、受注件数の増加や現場立地に困るところも大きく、これまでの取り組みは継続していく。</p> <p>現在の環境経営システム・取組を維持し、指示の徹底、更に取組を促進することで、経営の効率化・コストダウンの実現を図り、環境経営の推進に貢献する。</p> <p style="text-align: right;">令和6年3月15日 株式会社清水組 代表取締役 清水 和明</p>		
	見直し項目	変更の必要性	「有」の場合の指示事項等
	1 環境経営方針	有 <input checked="" type="radio"/> 無	
	2 環境経営目標	有 <input checked="" type="radio"/> 無	目標に届かない項目が多かったが、しばらくは継続していく
	3 環境経営計画	有 <input checked="" type="radio"/> 無	同上
	4 環境に関する組織(実施体制含め)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	
	5 その他のシステム要素	有 <input checked="" type="radio"/> 無	
	6 その他(外部への対応)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	

## 別表 環境への負荷の自己チェック表 【建設業者向け】

### <自己チェック表の構成等>

- 事業活動に伴う環境負荷について、本チェック表（Excelファイル）を基に把握してください。
- 環境負荷のうち、二酸化炭素排出量（エネルギー使用量）、一般廃棄物排出量等、産業廃棄物排出量等、水使用量、化学物質使用量は必ず把握してください。  
また、エネルギー使用量料金、廃棄物処理費用等についても入力し、どの程度のコストがかかっているかを把握してください。
- 本チェック表は、以下の11シートから構成されています。「入力の手順等」を参考に、必要な数値、項目名、単位等を入力してください。
  - ・ 自己チェック表の構成・入力の手順等（本シート）
  - ・ 1-1. 事業の規模
  - ・ 1-2. 建設現場等の概要及び件数
  - ・ 2. 環境への負荷の状況（取りまとめ表）：二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、水使用量、化学物質使用量等を一表に取りまとめる表
  - ・ 3. エネルギー使用量
  - ・ 4. 一般廃棄物排出量等
  - ・ 5. 産業廃棄物排出量等
  - ・ 6. 水使用量及び総排水量
  - ・ 7. 化学物質使用量
  - ・ 8. 資源等使用量（使用する主な建設資材）
  - ・ 9. 総製品生産量または販売量

### <入力の手順等>

- ① 環境負荷を把握する期間（年は西暦）を入力してください。1年間の環境負荷データを入力できます。入力した期間は、2～7の各シートの青色のセルに自動で入力されます。

開始年月：	2023	年	1	月
終了年月：	2023	年	12	月

※原則として1年間の環境負荷データを入力しますが、1年未満の期間で入力することもできます。

- ② 各シートのセルに数値、項目名、単位等を入力してください。既に入力されている単位については、必要に応じて変更してください。  
**黄色のセル** は、自動で合計値等が入力され、「2. 環境への負荷の状況（取りまとめ表）」に自動で入力されます。
- ③ 各シートで行、列の挿入や削除をすると、青色及び黄色のセルに設定している計算式等がずれることがありますのでご注意ください。

### 1-1. 事業の規模

○ エネルギー使用量等の環境負荷の総量のデータを原単位で把握するために用います。

指標	単位	対 象 期 間				
		( 2019年 1月～ 2019年 12月)	( 2020年 1月～ 2020年 12月)	( 2021年 1月～ 2021年 12月)	( 2022年 1月～ 2022年 12月)	( 2023年 1月～ 2023年 12月)
工事等の件数	件	12	14	13	15	20
従業員数	人	23	23	21	21	21
売上高	万円	26,240	25,076	31,237	34,134	43,558
事務所床面積	m <sup>2</sup>	204.31	204.31	204.31	204.31	204.31
倉庫床面積	m <sup>2</sup>	259.20	259.20	259.20	259.20	259.20
資機材置場 床面積	m <sup>2</sup>	1,718.00	1,718.00	1,718.00	1,718.00	1,718.00
工場・作業所等 床面積	m <sup>2</sup>					
( )						
( )						
( )						

**1-2. 建設現場等の概要及び件数**

- 規模が比較的大きな建設現場（元請工事金額5,000万円以上が一つの目安）は、工事毎に記入してください。
- 上記の規模以下の建設現場は、同種の工事等をまとめて名称及び件数と合計金額を記入してください。
- 内容の欄には、主な工程や作業内容（例：土工、コンクリート工、水路工、舗装工、戸建住宅新築工事、工場増築工事、協同住宅設計、橋梁上部設計、測量調査）等を記入してください。
- 環境配慮事項の欄には、工事の内容から必要とされる建設現場等周辺への環境配慮事項を記入してください。
- また、規模が比較的大きな建設現場（元請工事金額5,000万円以上が一つの目安）は、できる限り二酸化炭素の排出予想量を記入してください。
- 使用建機等の欄には、工事現場で使用する主な建設機械（建機）や設備機器等を記入してください。
- 発注元の欄には発注元が、公共機関であるか民間であるかの別を記入してください。下請工事の場合は、元請の発注元を記入してください。

<元請工事・業務等>

工事・業務等の名称	規模（金額）	工事業務等の内容	対象期間	環境配慮事項 (CO2排出予想量)	使用建機等	発注元
令和4年度興津川砂防工事(床固工)	件 27 百万円	土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業 水道施設工事業	令和4年6月～令和5年3月		バックホウ・ダンプ等	静岡土木事務所
令和4年度清市道第10号由比芝川線道路整備工事	件 68 百万円	土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業 水道施設工事業	令和4年9月～令和5年8月		バックホウ・ダンプ等	静岡市
令和4年度二級河川中河内川緊急自然災害防止対策工事(護岸工)	件 35 百万円	土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業 水道施設工事業	令和4年10月～令和5年5月		バックホウ・ダンプ等	静岡土木事務所
令和4年度二級河川興津川緊急自然災害防止対策工事(護岸工)	件 53 百万円	土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業 水道施設工事業	令和4年10月～令和5年6月		バックホウ・ダンプ等	静岡土木事務所
令和4年度県単治山(県営)東山(4平準化)工事	件 22 百万円	土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業 水道施設工事業	令和5年3月～令和5年9月		バックホウ・ダンプ等	中部農林事務所
その他工事	件 227 百万円					静岡市・静岡土木事務所・民間

<下請工事・業務等>

工事・業務等の名称	規模（金額）	工事業務等の内容	対象期間	環境配慮事項 (CO2排出予想量)	使用建機等	発注元
	件					
	百万円					
	件					
	百万円					
	件					
	百万円					
	件					
	百万円					
	件					
	百万円					









(2) 化石燃料

○ ①～④に該当しない項目で大量に使用しているエネルギーがある場合には、②以降の表に入力してください。

○ 排出係数は「地球温暖化対策に関する法律」の単位発熱量と炭素排出係数を用い、算出しています（「単位発熱量」×「炭素排出係数」×44/12）。【参考】二酸化炭素の分子量は44、炭素の原子量は12。

①ガソリン

排出係数：  kg-CO2/L

項目	単位	2023年1月	2023年2月	2023年3月	2023年4月	2023年5月	2023年6月	2023年7月	2023年8月	2023年9月	2023年10月	2023年11月	2023年12月	合計	月平均
使用量	L	73.37	223.25	180.31	141.88	83.32	148.93	139.46	143.12	50.91	220.40	197.94	111.94	1,714.83	142.90
料金	円	11,959	136,390	29,390	22,942	13,414	24,328	20,530	24,358	9,159	37,986	33,783	19,484	383,723	31,977
CO2排出量	kg-CO2	170.22	517.94	418.32	329.16	193.30	345.52	323.55	332.04	118.11	511.33	459.22	259.70	3,978.41	331.53

②建設現場等のガソリン

排出係数：  kg-CO2/L

項目	単位	2023年1月	2023年2月	2023年3月	2023年4月	2023年5月	2023年6月	2023年7月	2023年8月	2023年9月	2023年10月	2023年11月	2023年12月	合計	月平均
使用量	L	588.77	1,448.40	1,290.89	1,126.20	809.67	750.33	995.99	779.22	1,209.47	893.76	817.11	1,212.99	11,922.80	993.57
料金	円	97,114	237,281	210,628	183,378	131,604	122,652	167,703	133,258	217,329	154,427	140,900	210,670	2,006,944	167,245
CO2排出量	kg-CO2	1,365.95	3,360.29	2,994.86	2,612.78	1,878.43	1,740.77	2,310.70	1,807.79	2,805.97	2,073.52	1,895.70	2,814.14	27,660.90	2,305.07

③軽油

排出係数：  kg-CO2/L

項目	単位	2023年1月	2023年2月	2023年3月	2023年4月	2023年5月	2023年6月	2023年7月	2023年8月	2023年9月	2023年10月	2023年11月	2023年12月	合計	月平均
使用量	L	58.68	55.86	106.03		107.56	143.24	102.59	99.57	108.33		100.71	84.65	967.22	80.60
料金	円	8,215	7,820	14,972		14,951	20,231	14,439	14,749	16,730		14,850	12,356	139,313	11,609
CO2排出量	kg-CO2	151.39	144.12	273.56		277.50	369.56	264.68	256.89	279.49		259.83	218.40	2,495.43	207.95

④建設現場等の軽油

排出係数：  kg-CO2/L

項目	単位	2023年1月	2023年2月	2023年3月	2023年4月	2023年5月	2023年6月	2023年7月	2023年8月	2023年9月	2023年10月	2023年11月	2023年12月	合計	月平均
使用量	L	4,988.34	5,723.58	3,903.60	7,256.40	2,282.49	2,836.59	3,406.37	1,221.62	4,199.11	4,554.59	9,078.12	10,748.24	60,199.05	5,016.59
料金	円	728,802	835,408	565,434	1,062,997	332,033	400,986	510,011	186,821	672,829	701,571	1,419,038	2,986,010	10,401,940	866,828
CO2排出量	kg-CO2	12,869.92	14,766.84	10,071.29	18,721.51	5,888.82	7,318.40	8,788.43	3,151.78	10,833.70	11,750.84	23,421.55	27,730.46	155,313.55	12,942.80

⑤灯油

排出係数：  kg-CO2/L

項目	単位	2023年1月	2023年2月	2023年3月	2023年4月	2023年5月	2023年6月	2023年7月	2023年8月	2023年9月	2023年10月	2023年11月	2023年12月	合計	月平均
使用量	L														
料金	円														
CO2排出量	kg-CO2														

⑥建設現場等の灯油

排出係数：  kg-CO2/L

項目	単位	2023年1月	2023年2月	2023年3月	2023年4月	2023年5月	2023年6月	2023年7月	2023年8月	2023年9月	2023年10月	2023年11月	2023年12月	合計	月平均
使用量	L		235.00											235.00	19.58
料金	円		33,405											33,405	2,784
CO2排出量	kg-CO2		585.15											585.15	48.76

⑦A重油

排出係数：  kg-CO2/L

項目	単位	2023年1月	2023年2月	2023年3月	2023年4月	2023年5月	2023年6月	2023年7月	2023年8月	2023年9月	2023年10月	2023年11月	2023年12月	合計	月平均
使用量	L														
料金	円														
CO2排出量	kg-CO2														

⑧都市ガス

排出係数：  kg-CO2/m3

項目	単位	2023年1月	2023年2月	2023年3月	2023年4月	2023年5月	2023年6月	2023年7月	2023年8月	2023年9月	2023年10月	2023年11月	2023年12月	合計	月平均
使用量	m3														
料金	円														
CO2排出量	kg-CO2														

※都市ガスの排出係数「2.16」は地球温暖化対策推進法施行令に示された標準状態での単位発熱量を多くの地方公共団体が都市ガス供給を受ける際の一般的と考えられる条件（温度15℃、1.02気圧）の体積当たりに換算した値。

⑨液化石油ガス（LPG）

排出係数：  kg-CO2/kg

項目	単位	2023年1月	2023年2月	2023年3月	2023年4月	2023年5月	2023年6月	2023年7月	2023年8月	2023年9月	2023年10月	2023年11月	2023年12月	合計	月平均
使用量	kg														
料金	円														
CO2排出量	kg-CO2														

※液化石油ガス（LPG）の使用量を気体（m3）で把握している場合については「1m3=2.07kg」として換算してください。

⑩建設現場等の液化石油ガス（LPG）

排出係数：  kg-CO2/kg

項目	単位	2023年1月	2023年2月	2023年3月	2023年4月	2023年5月	2023年6月	2023年7月	2023年8月	2023年9月	2023年10月	2023年11月	2023年12月	合計	月平均
使用量	kg														
料金	円														
CO2排出量	kg-CO2														

※液化石油ガス（LPG）の使用量を気体（m3）で把握している場合については「1m3=2.07kg」として換算してください。





5. 産業廃棄物排出量等

- 内訳には、廃棄物の種類を入力してください。
- 再資源化量には、有価物として売却したものと含まれます。
- 処理費用には、収集運搬及び処分に関わる費用の合計を入力してください。
- 処理費用について、再資源化のために有価物として売却している場合は、金額をマイナスで入力してください。

(1) 産業廃棄物

内訳	項目	単位	2023年1月	2023年2月	2023年3月	2023年4月	2023年5月	2023年6月	2023年7月	2023年8月	2023年9月	2023年10月	2023年11月	2023年12月	合計
コンクリート塊	排出量	kg													
	中間処理量	kg													
	うち再資源化量	kg													
	最終処分（埋立）量	kg													
	再資源化率	%													
	処理費用	円													
As・Co塊	排出量	kg	105,000	10,000	10,575,000	22,500	6,000	23,710	1,980	2,000	10,360	111,570	69,000	176,400	11,113,520
	中間処理量	kg	105,000	10,000	10,575,000	22,500	6,000	23,710	1,980	2,000	10,360	111,570	69,000	176,400	11,113,520
	うち再資源化量	kg	105,000	10,000	10,575,000	22,500	6,000	23,710	1,980	2,000	10,360	111,570	69,000	176,400	11,113,520
	最終処分（埋立）量	kg													
	再資源化率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	処理費用	円	273,590	26,840	22,990	61,380	19,360	65,780	13,970	5,060	26,400	403,601	163,350	398,888	1,481,209
建設発生木材	排出量	kg	218,900	74,700	12,467	1,375	19,635	31,551	9,000		9,000	50,300	44,923	4,785	476,636
	中間処理量	kg	218,900	74,700	12,467	1,375	19,635	31,551	9,000		9,000	50,300	44,923	4,785	476,636
	うち再資源化量	kg	218,900	74,700	12,467	1,375	19,635	31,551	9,000		9,000	50,300	44,923	4,785	476,636
	最終処分（埋立）量	kg													
	再資源化率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	処理費用	円	406,956	106,920	357,005	19,250	98,301	120,258	44,682		60,522	137,615	333,603	24,948	1,710,060
建設汚泥	排出量	kg													
	中間処理量	kg													
	うち再資源化量	kg													
	最終処分（埋立）量	kg													
	再資源化率	%													
	処理費用	円							998		2,995	998			4,991
建設混合廃棄物	排出量	kg	731,000	345,000	127,000	6,280,000		675,000	165,000	47,000	130,000	818,000	575,000		9,893,000
	中間処理量	kg	731,000	345,000	127,000	6,280,000		675,000	165,000	47,000	130,000	818,000	575,000		9,893,000
	うち再資源化量	kg	731,000	345,000	127,000	6,280,000		675,000	165,000	47,000	130,000	818,000	575,000		9,893,000
	最終処分（埋立）量	kg													
	再資源化率	%	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0
	処理費用	円													
汚泥	排出量	kg							110.00		330.00	110.00			550.00
	中間処理量	kg							110.00		330.00	110.00			550.00
	うち再資源化量	kg							110.00		330.00	110.00			550.00
	最終処分（埋立）量	kg													
	再資源化率	%							100.0		100.0	100.0			100.0
	処理費用	円							998		2,995	998			4,991
廃プラスチック	排出量	kg			2,160.00	6,030.00	1,893.00	3,687.00	1,636.00	4,597.00	106.00	525.00	938.00	2,995.00	24,567.00
	中間処理量	kg			2,160.00	6,030.00	1,893.00	3,687.00	1,636.00	4,597.00	106.00	525.00	938.00	2,995.00	24,567.00
	うち再資源化量	kg			2,160.00	6,030.00	1,893.00	3,687.00	1,636.00	4,597.00	106.00	525.00	938.00	2,995.00	24,567.00
	最終処分（埋立）量	kg													
	再資源化率	%			100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	処理費用	円			109,670	455,805	114,526	200,376	73,953	26,136	6,413	21,450	56,749	155,622	1,220,700
金属くず	排出量	kg													
	中間処理量	kg													
	うち再資源化量	kg													
	最終処分（埋立）量	kg													
	再資源化率	%													
	処理費用	円													
紙くず	排出量	kg													
	中間処理量	kg													
	うち再資源化量	kg													
	最終処分（埋立）量	kg													
	再資源化率	%													
	処理費用	円													
繊維くず	排出量	kg													
	中間処理量	kg													
	うち再資源化量	kg													
	最終処分（埋立）量	kg													
	再資源化率	%													
	処理費用	円													
廃油	排出量	kg													
	中間処理量	kg													
	うち再資源化量	kg													
	最終処分（埋立）量	kg													
	再資源化率	%													
	処理費用	円													
石膏ボード	排出量	kg													
	中間処理量	kg													
	うち再資源化量	kg													
	最終処分（埋立）量	kg													
	再資源化率	%													
	処理費用	円													
合計	総排出量	kg	1,054,900.00	429,700.00	10,716,627.00	6,309,905.00	27,528.00	733,948.00	177,726.00	53,597.00	149,796.00	980,505.00	689,861.00	184,180.00	21,508,273.00
	中間処理量	kg	1,054,900.00	429,700.00	10,716,627.00	6,309,905.00	27,528.00	733,948.00	177,726.00	53,597.00	149,796.00	980,505.00	689,861.00	184,180.00	21,508,273.00
	うち再資源化量	kg	1,054,900.00	429,700.00	10,716,627.00	6,309,905.00	27,528.00	733,948.00	177,726.00	53,597.00	149,796.00	980,505.00	689,861.00	184,180.00	21,508,273.00
	最終処分（埋立）量	kg													
	再資源化率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	処理費用	円	680,546	133,760	489,665	536,435	232,187	386,414	134,601	31,196	99,325	564,662	553,702	579,458	4,421,951



(2) 産業廃棄物 (特別管理)

内訳	項目	単位	2023年1月	2023年2月	2023年3月	2023年4月	2023年5月	2023年6月	2023年7月	2023年8月	2023年9月	2023年10月	2023年11月	2023年12月	合計
廃油	排出量	kg													
	中間処理量	kg													
	うち再資源化量	kg													
	最終処分(埋立)量	kg													
	再資源化率	%													
	処理費用	円													
	kg														
廃PCB等	排出量	kg													
	中間処理量	kg													
	うち再資源化量	kg													
	最終処分(埋立)量	kg													
	再資源化率	%													
	処理費用	円													
	kg														
廃石綿等	排出量	kg													
	中間処理量	kg													
	うち再資源化量	kg													
	最終処分(埋立)量	kg													
	再資源化率	%													
	処理費用	円													
	kg														
合計	総排出量	kg													
	中間処理量	kg													
	うち再資源化量	kg													
	最終処分(埋立)量	kg													
	再資源化率	%													
	処理費用	円													
	kg														

(3) 建設発生土

	項目	単位	2023年1月	2023年2月	2023年3月	2023年4月	2023年5月	2023年6月	2023年7月	2023年8月	2023年9月	2023年10月	2023年11月	2023年12月	合計
建設発生土 <sup>(注)</sup>	発生量	m <sup>3</sup>	515.88	2.94	17.05	10.00	33.00	258.00	1.29	1,143.50	1,896.23		5.82		3,883.71
	再使用量	m <sup>3</sup>													
	ストック量	m <sup>3</sup>													
	埋立等処理量	m <sup>3</sup>													
	有効利用率	%													

(注) 建設副産物の一つで、建設工事から検出される土砂であり、廃棄物処理法に規定する廃棄物には該当しません。建設発生土には(1)土砂及び専ら土地造成の目的となる土砂に準ずるもの、(2)港湾、河川等の浚渫に伴って生ずる土砂(浚渫土)、その他これに類するものがあります。  
建設発生土における有効利用率については、次の式から算出してください。有効利用率 = (再使用量 + ストック量) / 発生量



## 7. 化学物質使用量

- 施工段階で使用される接着剤、防水剤、塗料等で、化学物質を含む製品を使用する事業者においては、使用する化学物質の量を把握します。
- 把握する化学物質は、原則としてPRTR制度対象物質とします。
- 製品における化学物質の含有率は、対象となる製品の容器に記載された成分表をもとに把握できます。成分表が記載されていない場合は、製造元や卸売業者、小売業者にSDS（安全データシート）を請求し、含有率を把握してください。
- 年間使用量は、期首保管量に年間購入量を加えた量から期末保管量を差し引いたものとなります。保管量の把握が難しい場合は購入量で把握してください。

製品名／化学物質の種類		単位	2023年1月	2023年2月	2023年3月	2023年4月	2023年5月	2023年6月	2023年7月	2023年8月	2023年9月	2023年10月	2023年11月	2023年12月	年間購入量 (A)	期首保管量 (B)	期末保管量 (C)	年間使用量 (A+B-C)
製品名 [ ] 含有PRTR制度対象物質名	購入量	kg																
	含有率 [ ]	kg																
製品名 [ ] 含有PRTR制度対象物質名	購入量	kg																
	含有率 [ ]	kg																
製品名 [ ] 含有PRTR制度対象物質名	購入量	kg																
	含有率 [ ]	kg																
製品名 [ ] 含有PRTR制度対象物質名	購入量	kg																
	含有率 [ ]	kg																
製品名 [ ] 含有PRTR制度対象物質名	購入量	kg																
	含有率 [ ]	kg																
製品名 [ ] 含有PRTR制度対象物質名	購入量	kg																
	含有率 [ ]	kg																

## 8. 資源等使用量（使用する主な建設資材）

- 資源等使用量は、右の四角囲いの例を参考に、主要な物質を把握してください。
- 資源等使用量を把握するのが困難な場合には、総製品生産量または総商品販売量に廃棄物排出量を足し合わせて算出することもできます。

2023年1月～2023年12月			
資源の種類	単位	使用量	備考（保管量等）
生コンクリート	m <sup>3</sup>	1,515.10	
砕石	m <sup>3</sup>	1,139.70	
山土	m <sup>3</sup>	2,553.05	

- 例：資材（資源）の種類  
（循環資源も同様）
  - ・生コンクリート
  - ・アスファルト・コンクリート
  - ・砕石
  - ・砂
  - ・土砂
  - ・木材
  - ・鋼材（鋼材二次製品含む）
  - ・乳剤
  - ・塗料
  - ・接着剤
  - ・紙（用紙も含まれる） 等
- その他
  - ・重量で把握可能な、製品、  
コンクリート二次製品、  
半製品、商品 等

## 9. 総製品生産量または販売量

○ 設備工事業等商品販売を伴う場合、その他工場やプラント等を有する建設業者は、商品等の生産量または販売量を把握してください。

対象期間（ 年 月 ～ 年 月）			単位	生産・販売量
製品名等		単位	生産・販売量	
製 品 ・ 商 品	重 量		t	
			t	
			t	
			t	
			t	
		重量合計	t	
	重 量 以 外			

# 環境上の緊急対策

〈緊急時対策〉

策定日：令和5年1月1日

作成者：清水 和明

想定される環境に於ける緊急事態について、環境への影響を最小限に食い止めること・内外への連絡を円滑に行うこと・可能な範囲で事前に想定、準備すること。また、定期的にその訓練を行う。更に、緊急事態の発生や、訓練の後、対応の評価と改善策を行う。

想定のパターン	想定される緊急事態	原因	対応策
パターン1	重機からのオイル漏れ	経年劣化 物理的衝撃 (機械故障) (操作ミス)	1.オイル漏れ発見 2.現場主任へ口頭or電話連絡 3.対応指示 4.オイルマット敷設 5.重機修理手配・完了 6.オイルマット回収
パターン2	大規模地震や火災の発生	地震	・本社内の安全箇所の確認 ・本社内の危険箇所の確認 ・緊急避難先の確認 ・避難訓練の実施 ・連絡先の共有 ・本社備蓄品の検討

## 訓練記録

訓練日	想定される緊急時の状況	原因	対処・訓練等
令和5年 12月28日	重機からのオイル漏れ	経年劣化による破損	初期対応及び対応手順の確認
参加者	清水、渡辺、大橋、深澤、小澤		
緊急事態(建設機械からのオイル漏れ)発生時の初期対応及び対応作業手順の確認が出来た。 手順に問題はなかった。			

訓練日	想定される緊急時の状況	原因	対処・訓練等
参加者			

■ 緊急事態への準備及び対応（写真）

緊急事態記録  
 (発生・**訓練**・テスト)



災害訓練

オイルマット使用状況

---



---



---



---



---



---



災害訓練

オイルマット使用状況

---



---



---



---



---



---



災害訓練

使用材料

(タフネスオイルブロッカー)

---



---



---



---



---



---



# 環境コミュニケーション受付表

作成・管理担当: 岩森 瞳

NO.	情報入手日	情報種類	通報者	通報方法	住所	内容	回答の 必要性	対応内容 (再発防止策)
					連絡先			
1	/	対策 ・ 苦情		電話 ・ メール ・ ( )			必要・不要	
2	/	対策 ・ 苦情		電話 ・ メール ・ ( )			必要・不要	
3	/	対策 ・ 苦情		電話 ・ メール ・ ( )			必要・不要	
4	/	対策 ・ 苦情		電話 ・ メール ・ ( )			必要・不要	
5	/	対策 ・ 苦情		電話 ・ メール ・ ( )			必要・不要	
6	/	対策 ・ 苦情		電話 ・ メール ・ ( )			必要・不要	
7	/	対策 ・ 苦情		電話 ・ メール ・ ( )			必要・不要	
8	/	対策 ・ 苦情		電話 ・ メール ・ ( )			必要・不要	
9	/	対策 ・ 苦情		電話 ・ メール ・ ( )			必要・不要	

No. \_\_\_\_\_

作成者: \_\_\_\_\_

## 是正処置確認報告書

発生日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

<問題点> (何が? ~どうなっている! ~) C/

<原因> (なぜ? ~) A/

是正処置の必要性の有無 ( 有 ・ 無 )

<是正計画> (何を? ~誰が? ~何時までに? ~どうする~) P/D/

<結果確認> (どの様に改善された~問題点は解決したか? ~ C/A/P/ (予防処置は?))

確認日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

確認者 \_\_\_\_\_

別表 環境への取組の自己チェック表【建設業者向け】Ⅰ. 建設業に関する取組

- 組織の環境への取組状況について、本チェック表(Excelファイル)を基に把握してください。
- 追加する取組がある場合には、それぞれの項目の下の空欄に取組の内容を記入してください。
- 関連する取組についてのみ、左の「チェック」の欄に「1」を入力してください。
- 「重要度」の欄に、環境経営に著しい効果があると考えられる項目には「3」を、かなり効果がある項目には「2」を、多少効果がある項目には「1」を入力してください。
- 「取組」の欄に、既に取り組んでいる活動には「2」を、さらに取組が必要は活動には「1」を、取り組んでいない活動には「0」を入力してください。
- 評価点及び結果の点数は、自動で入力されます。

総合結果 

151	/	178
-----	---	-----

1. 建設業の取組に関する項目

大項目結果 

62	/	74
----	---	----

1) 省エネルギー

中項目結果 

44	/	52
----	---	----

①エネルギーの効率的利用及び日常的なエネルギーの節約

チェック	段階			具体的な取組内容	重要度	取組	評価点	
	設計・調達	施工管理	保守点検					
1	○	○		施工方法や作業方法を見直し、エネルギーの効率的利用をしている	3	1	3	6
1	○	○		ICTの活用など、既存の工法を変更し、エネルギーの消費を抑えている	1	1	1	2
1	○	○		建設現場の作業規模に応じた建設機械などの種類や規格を用いることでエネルギーの消費を抑えている	2	2	4	4
1	○	○		生コンクリートの打設など、気温や湿度、天候、季節に左右される工種は、最適時期に施工するよう工程を工夫している	1	1	1	2
1	○	○		運搬計画を見直し、エネルギー消費の少ない運搬を行っている	2	2	4	4
1	○	○		使用する建設機械、機械を効率的使用の観点からから見直し、エネルギーの消費を抑えている(建設機械を大型化し作業日数を短縮する、資材納入車両を大型化し運搬回数を減少させる、連絡車を普通自動車から軽自動車に変更する、鉄骨材を設計変更により軽量化しクレーンを小型化する等)	3	2	6	6
1	○	○		建設副産物、建設発生土、資材の運搬場所、運搬ルートを見直し、運搬・輸送距離の短縮を図っている	2	2	4	4
	○	○		仮設照明は白熱球を取りやめ、LEDに切り替える	1	1	-	-
							-	-
							-	-

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

②建設機械及び設備機器などの適正管理

チェック	段階			具体的な取組内容	重要度	取組	評価点	
	設計・調達	施工管理	保守点検					
1		○		建設機械(ショベル、ブルドーザー、クレーンなど)の省燃費運転を行っている	3	2	6	6
1		○	○	建設機械の事前事後の点検整備を怠りなく行っている	2	2	4	4
1	○	○		排出車両(ダンプトラックなど)における過積載を行わないよう教育し、監視している	2	2	4	4
1	○	○	○	エンジンオイルは環境に配慮した製品を用いている	2	1	2	4
	○	○	○	バイオ燃料(廃食用油からの再生燃料など)も現場車両に用いている			-	-
1	○	○		ハイブリット建機、電気駆動建機などを導入している	1	1	1	2
1	○	○		低騒音、低振動建機を利用している	2	2	4	4
							-	-
							-	-

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

2) 省資源

中項目結果 

8	/	8
---	---	---

チェック	段階			具体的な取組内容	重要度	取組	評価点	
	設計・調達	施工管理	保守点検					
	○	○		施工に合わせて、スプレーガンなどの利用で塗料や洗浄剤などの使用量を抑制している			-	-
1	○	○		仮設材料を工夫し、安全を重視しつつ再利用するなど環境に配慮している	2	2	4	4
1	○	○		建設発生土の場内利用や、再利用を図る工夫をしている	2	2	4	4
							-	-
							-	-

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

3) 水の効率的利用及び日常的な節水

中項目結果 10 / 14

チェック	段階			具体的な取組内容	重要度	取組	評価点
	設計・調達	施工管理	保守点検				
1		○		建設現場など（道路路面への散水など）や資機材置場で使用する水を再利用するための設備を設置し、活用している（中水利用）	2	2	4
		○		粉塵飛散防止のための散水や打ち水によるクールダウンには雨水や中水を有効に利用している			—
1	○	○		雨水の貯留タンクや雨水利用施設の設置などにより、雨水利用を行っている	2	1	2
		○		舗装工事の舗設で使用する散水用の水は、排水路の水や雨水などを利用している			—
		○		街路樹や公園緑化の植栽工事で使用する散水用の水は、排水路の水や雨水などを利用している			—
1		○		建設機械などの洗車には、排水路の水や雨水などを利用している	1	2	2
1		○		建設機械などを洗車する場合は、泥などを落としてから行っている	1	1	1
1		○		建設機械などの洗車などに使用するホースの先には、ストッパーを付けている	1	1	1
							—
							—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

4) 化学物質使用量の抑制及び管理

中項目結果 0 / 0

チェック	段階			具体的な取組内容	重要度	取組	評価点
	設計・調達	施工管理	保守点検				
	○	○		建設現場などで使用する有害性の化学物質（塗料に含まれるシンナーやトルエン、硬化剤に含まれるアミン類など）は、流出防止対策を徹底している			—
	○	○		建設現場などで使用する有害性の化学物質（塗料に含まれるシンナーやトルエン、硬化剤に含まれるアミン類など）の拡散防止対策を徹底している			—
	○	○		接着剤、防水剤、塗料などに含まれる有害性の化学物質（塗料に含まれるシンナーやトルエン、硬化剤に含まれるアミン類など）の削減に取り組んでいる			—
	○	○		建設現場などで使用する化学物質は、生分解性などの環境にやさしい製品の使用促進を行っている			—
	○	○		建設現場などにおける化学物質は必要最小限の使用量とし、保管は原則行わないようにしている			—
	○	○		消毒用アルコールを非危険物のものにして			—
	○	○	○	保管タンク、配管などの漏れ防止を実施している			—
	○	○	○	洗浄薬品などは、交換頻度の見直しを行っている（品質維持必須）			—
	○	○	○	燃料油、溶剤、塗料などは揮発を防止するなど、VOCの排出抑制に取り組んでいる			—
							—
							—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

2. 事業活動からのアウトプットに関する項目

大項目結果 59 / 68

1) 温室効果ガスの排出抑制、大気汚染などの防止

中項目結果 30 / 34

①温室効果ガスの排出抑制

チェック	段階			具体的な取組内容	重要度	取組	評価点
	設計・調達	施工管理	保守点検				
1	○	○		燃料消費の少ない施工方法や作業方法を採用している	1	1	1
1	○	○		施工方法や作業方法によって、燃料消費の少ない建設機械などや設備機器を選定している	2	1	2
1	○	○		燃料消費の少ない建設機械などや設備機器の組み合わせを推進している	2	2	4
1	○	○		燃料消費の少ない運搬経路や資材搬入経路を検討し、採用している	2	2	4
1		○	○	建設車両のタイヤ空気圧の適正維持を行っている	1	2	2
1		○		建設機械などの省エネ運転を推進している	2	2	4
1		○	○	建設機械などのアイドリングストップを行っている	2	2	4
1	○	○	○	国土交通省の建設施工における地球温暖化防止の手引きに従い、取り組んでいる	1	1	1
1	○	○		低炭素型建設機械の導入を図っている	1	2	2
1	○	○		燃料消費の少ない工法への変更に取り組んでいる	1	2	2
	○	○		情報化施工による低燃費施工の導入を図っている			—
							—
							—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

②大気汚染物質の排出抑制

チェック	段階			具体的な取組内容	重要度	取組	評価点
	設計・調達	施工管理	保守点検				
		○		排出ガス低減効果のある燃料やオイルを使用している			—
1		○	○	建設機械などの定期的自主点検の他、施工開始時などに点検を実施している	2	2	4
		○	○	定期的に吸気口の清掃をしている			—
			○	設備の定期点検と予防保全の実施をしている			—
	○		○	汚染物質除去装置を設置している			—
							—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

2) 廃棄物などの排出抑制、リサイクル、適正処理

中項目結果 13 / 18

①廃棄物の発生そのものを抑える取組

チェック	段階			具体的な取組内容	重要度	取組	評価点
	設計・調達	施工管理	保守点検				
		○		施工温度の影響による品質劣化を防ぐため温度管理を徹底している			—
1	○	○		施工方法や作業方法を見直し、廃棄物の発生量の抑制に取り組んでいる	2	2	4
		○		施工時、作業時における資材ロスの低減に努めている			—
1	○	○		廃棄物の発生量の把握と削減目標を設定している（維持管理含む）	1	2	2
		○		劣化などによる不良在庫を減らすため、在庫数量の適正化など在庫管理を徹底している			—
1	○			電子マニフェストを導入している	1	2	2
	○	○		施工管理の出来型管理計画時に、設計基準に上乗せした自主基準を設けて、生コンクリートやアスファルト・コンクリートの廃棄を抑制している			—
	○	○		建設資材発注時に使用数量を再チェックし、残余建設資材の廃棄を抑制している			—
							—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

②リサイクルの促進

チェック	段階			具体的な取組内容	重要度	取組	評価点
	設計・調達	施工管理	保守点検				
1		○	○	建設現場などで発生する建設副産物の再利用率向上のため、分別などを行い、工夫をしている（建設発生木材のチップ化など建設資材として再利用している）	2	1	2
1		○		建設現場などで発生する混合廃棄物を分解などして分別し、リユース、リサイクルしている	2	1	2
1		○		建設現場などで発生する廃棄物を混合廃棄物としないよう徹底している	1	1	1
							—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

3) 排水処理

中項目結果 4 / 4

チェック	段階			具体的な取組内容	重要度	取組	評価点
	設計・調達	施工管理	保守点検				
1		○		施工方法や作業方法を見直し、水質汚濁の少ない方法に変更している	1	2	2
1		○		オイルフェンスの設置など、排水の汚濁防止対策を行っている	1	2	2
							—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

4) その他生活環境に係る保全の取組など

中項目結果 12 / 12

チェック	段階			具体的な取組内容	重要度	取組	評価点
	設計・調達	施工管理	保守点検				
1	○	○		建設現場などで周辺の生活環境に影響の少ない時間帯での施工を行っている	2	2	4
1	○	○		建設現場などで周辺の生活環境に影響の少ない施工方法や作業方法を検討し、施工している	2	2	4
1	○	○		建設現場などで周辺の生活環境に影響の少ない工法を提案し、採用している	2	2	4
							—
							—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

3. 製品及びサービスに関する項目

大項目結果 22 / 26

1) グリーン購入（環境に配慮した物品などの購入、使用など）

中項目結果 2 / 4

チェック	段階			具体的な取組内容	重要度	取組	評価点
	設計・調達	施工管理	保守点検				
	○			木材の調達（伐採）に当たり、跡地の緑化、植林、環境修復が適切に行われていることに配慮している。又は跡地緑化などを考慮している			—
1	○			環境負荷の少ない建築材（合板型枠などの木材、高炉セメント、エコセメント、再生素材など）の調達を行っている	1	1	1
	○	○		地域産の木材などを積極的に購入し、使用している			—
1	○			再生可能、有害性の化学物質（塗料に含まれるシンナー等）の含有量が少ないなどの建設資材などを購入している	1	1	1
	○			森林認証などがついた建設資材を用いるよう、グリーン購入を行っている			—
							—
							—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

2) 施工・販売・提供する製品及びサービスにおける環境配慮

中項目結果 20 / 22

① 施工などにおける取組

チェック	段階			具体的な取組内容	重要度	取組	評価点
	設計・調達	施工管理	保守点検				
1	○			建設現場などで事前環境調査の実施及び対策を実施している	1	2	2
	○			環境配慮型工法の採用や環境配慮型施工の提案をしている	1	2	—
1	○	○		建設現場などで周辺の自然との共生と調和を指向している	2	2	4
1	○	○		建築物・工作物等の長寿命化を指向している	1	2	2
1	○	○		建築物・工作物等の使用過程でのエネルギーの削減と省資源化を指向している	2	2	4
1	○	○		再生資源の積極的利用に取り組んでいる	2	2	4
1	○	○		環境負荷の少ない建築材の使用、建築材の使用合理化への取組を指向している（合板型枠などの木材の使用合理化、高炉セメント、エコセメント、再生素材の積極的使用など）	1	1	1
1	○	○		環境負荷の少ない施工や工法を採用している	1	1	1
	○	○		リサイクルしやすい素材の種類や製品の部品点数の削減や、ネジの数を減らすことなどによる解体しやすい構造を指向している			—
	○	○		環境負荷の少ない施工のための設計、計画の策定に取り組んでいる			—
	○	○		施主に対し、環境負荷の少ない建築物・工作物等の施工設計・計画を提案している			—
	○	○		購入する原材料の仕様を変更し、端材などの削減に取り組んでいる			—
							—
							—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

② 出荷、運搬、輸送などにおける取組

チェック	段階			具体的な取組内容	重要度	取組	評価点
	設計・調達	施工管理	保守点検				
1		○		帰り荷や複数現場への共積み、乗り合いを励行している	1	2	2
							—
							—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

4. その他

大項目結果 8 / 10

1) 生物多様性の保全と持続可能な利用のための取組

中項目結果 2 / 2

チェック	段階			具体的な取組内容	重要度	取組	評価点
	設計・調達	施工管理	保守点検				
		○		建設現場などで周辺の生物多様性保全に取り組んでいる			—
1		○		建設現場及び周辺の自然環境の把握をしている	1	2	2
	○	○		地元の自然資源の積極的な利用を図り、地産地消を推進している			—
							—
							—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

2) 環境コミュニケーション及び社会貢献

中項目結果 6 / 8

①環境コミュニケーション

チェック	段階			具体的な取組内容	重要度	取組	評価点
	設計・調達	施工管理	保守点検				
1		○		建設現場など周辺の自然環境などの状態を把握し、周辺地域の関係者に説明し、情報を共有する	1	1	1
		○		建設現場など周辺の生物多様性保全の取組を、地域と協働して取り組んでいる			—
							—
							—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

②社会貢献

チェック	段階			具体的な取組内容	重要度	取組	評価点
	設計・調達	施工管理	保守点検				
1		○		事務所及び建設現場など周辺の景観や生物多様性保全に取り組んでいる	2	2	4
1	○	○		環境負荷の少ない建築材の使用、建築材の使用合理化など（合板型枠などの木材の使用合理化、高炉セメント、エコセメント、再生素材の積極的使用など）を依頼している	1	1	1
							—
							—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。



別表 環境への取組の自己チェック表【建設業者向け】Ⅱ. その他の環境への取組

- 組織の環境への取組状況について、本チェック表(Excelファイル)を基に把握してください。
- 追加する取組がある場合には、それぞれの項目の下の空欄に取組の内容を記入してください。
- 関連する取組についてのみ、左の「チェック」の欄に「1」を入力してください。
- 「重要度」の欄に、環境経営に著しい効果があると考えられる項目には「3」を、かなり効果がある項目には「2」を、多少効果がある項目には「1」を入力してください。
- 「取組」の欄に、既に取り組んでいる活動には「2」を、さらに取組が必要は活動には「1」を、取り組んでいない活動には「0」を入力してください。
- 評価点及び結果の点数は、自動で入力されます。

総合結果 309 / 332

1. 事業活動へのインプットに関する項目

大項目結果 159 / 182

1) 省エネルギー（アウトプットである温室効果ガスの排出抑制にも効果がある取組）

中項目結果 97 / 118

①エネルギーの効率的利用及び日常的なエネルギーの節約

チェック	具体的な取組内容	取組段階の目安 導入 発展 継続的発展	重要度	取組	評価点	
1	事務室、工場などの照明は、昼休み、残業時など、不必要な時は消灯している	導入	2	2	4	4
1	ロッカー室や倉庫、使用頻度が低いトイレなど、照明は普段は消灯し、使用時のみ点灯している	導入	2	2	4	4
1	パソコン、コピー機などのOA機器は、省電力設定にしている	導入	2	2	4	4
1	夜間、休日は、パソコン、プリンターなどの主電源を切っている	導入	2	2	4	4
	エレベーターの使用を控え、階段を使用している	導入			—	—
1	空調の適温化（冷房28℃程度、暖房20℃程度）を徹底している	導入	2	2	4	4
1	使用していない部屋の空調を停止している	導入	2	2	4	4
1	ブラインドやカーテンの利用などにより、熱の出入りを調節している	導入	2	2	4	4
1	夏季における軽装（クールビズ）、冬季における重ね着（ウォームビズ）など服装の工夫をして、冷暖房の使用を抑えている	導入	2	2	4	4
	達成時期を定めた具体的な数値目標を設定している	導入			—	—
	緑のカーテンを設置している	導入			—	—
	すだれや庇の取り付けで窓からの日射の侵入を防いでいる	導入			—	—
	屋外機の冷却対策（よしず、日陰、散水など）をしている	導入			—	—
	窓に断熱シート（プチプチマットなど）を貼付け、熱のロスを防いでいる	導入			—	—
	屋上に野菜などを植えて屋上緑化をしている	発展			—	—
1	空調が必要な区域や時間に限定して使用している	発展	2	2	4	4
	人感センサー、照度センサー等による管理を行っている	発展			—	—
	間引き照明を実施している	発展			—	—
	ピークシフトを実施している	継続的発展			—	—
					—	—
					—	—

↑関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

②設備機器などの適正管理

チェック	具体的な取組内容	取組段階の目安 導入 発展 継続的発展	重要度	取組	評価点	
1	空調機のフィルターの定期的な清掃・交換など、適正に管理している	導入	2	2	4	4
1	冷暖房終了時間前に熱源機を停止し、装置内の熱を有効利用している（予冷や予熱時には外気の取り入れをしていない）	導入	2	2	4	4
1	照明器具については、定期的な清掃、交換を行うなど、適正に管理している	導入	2	2	4	4
	エレベーターの夜間、休日の部分的停止などを行っている	発展	2	2	—	—
	電力不要時には、負荷遮断、変圧器を遮断している	継続的発展			—	—
1	熱源機器（冷凍機、ボイラーなど）の冷水・温水出口温度の設定を、運転効率がよくなるよう可能な限り調整をする他、定期点検を行うなど、適正に管理している	継続的発展	2	2	4	4
1	空気圧縮機については、必要十分なライン圧力に低圧化している	継続的発展	2	2	4	4
1	外気温度が概ね20～27℃の中間期は、全熱交換器（換気をしながら、冷暖房の熱を回収して再利用する設備）のバイパス運転（普通換気モード、中間制御運転、熱交換ローター停止）を行っている。又は、窓の開閉などにより外気取り入れ量を調整して室温を調節している	継続的発展	2	2	4	4
1	冬季以外は給湯を停止している	継続的発展	1	1	1	2
1	共用のコンピューターなどの電源については、管理担当者や使用上のルールを決めるなど、適正に管理している	継続的発展	2	2	4	4
	デマンド監視を実施している	継続的発展			—	—
	高効率機器（蓄熱式ヒートポンプなど）を採用している	継続的発展			—	—
	空調：外気侵入による熱損失を防ぐ処置をしている	継続的発展			—	—
	空調：外気利用などで効率の良い運転をしている	継続的発展			—	—
	排熱を利用している	継続的発展			—	—
					—	—
					—	—

↑関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

③設備の入替・更新時及び施設の改修に当たっての配慮

チェック	具体的な取組内容	取組段階の目安 導入 発展 継続的発展	重要度	取組	評価点
1	昼間の太陽光や人の存在を感知し、必要時のみ点灯する設備を採用している	導入	2	2	4
	LED照明を採用している	導入			—
1	複層ガラス、二重サッシなどを採用し、建物の断熱性能を向上させている	導入	2	1	2
1	コピー機、パソコン、プリンターなどのOA機器については、エネルギー効率の高い機器を導入している	発展	2	2	4
1	あらかじめ設定された時刻や時間帯に、照明の箇所や照度などを自動制御するシステムを導入している	発展	2	1	2
1	熱線吸収ガラス、熱線反射ガラスを採用し、日射を遮断している	発展	2	1	2
1	照明器具の位置を下げるなど照度UPに取り組んでいる	発展	2	1	2
	負荷の変動が予想される動力機器において、回転数制御が可能なインバーターを採用している	継続的発展			—
1	建設機械のほか、空気圧縮機、冷凍機、ボイラーなどのエネルギー供給設備については、新規購入及び更新時には省エネルギー型機を導入している	継続的発展	2	2	4
1	換気の際に屋外に排出される熱を回収して利用することのできる全熱交換器を採用している	継続的発展	1	1	1
1	部分換気システムを導入している	継続的発展	1	1	1
1	従来機との比較でAPFの高いヒートポンプエアコンを採用している	継続的発展	1	1	1
1	天然ガスを利用した空調システムなどの省エネルギー型空調設備を導入している	継続的発展	1	1	1
1	天井埋込形エアコンの吹き出しにファンなどを付けて、風を攪乱させる装置を導入している	継続的発展	2	1	2
1	給湯設備の配管などを断熱化している	継続的発展	1	1	1
1	電力損失の少ない高効率変圧器を採用している	継続的発展	2	1	2
	コージェネレーションシステムを導入している	継続的発展			—
1	地域冷暖房（地域熱供給）システムを採用している	継続的発展	1	1	1
	ごみ焼却熱やボイラーなどの廃熱を利用できる回収システムを導入している	継続的発展			—
1	屋根、壁、床などに断熱材を採用している	継続的発展	2	1	2
	自然エネルギーの積極的利用を進めている／検討している	継続的発展			—
	空調機の屋外機に散水装置を取り付けている（ピークカット対策）	継続的発展			—
	潜熱回収型湯沸器（熱効率95%）を採用している	継続的発展			—
	蒸気配管、加熱装置などの断熱化（保温）している	継続的発展			—
	照明器具に個別スイッチ（キャノピースイッチなど）を取り付けている	継続的発展			—
	家電製品はトップランナー製品を優先的に選択している（省エネ性能カタログを参考にしている）	継続的発展			—
	電力のデマンドコントロールを採用している（ピークカット対策）	継続的発展			—
	屋上を遮熱塗装している	継続的発展			—
					—
					—

↑関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

2) 省資源

中項目結果 34 / 34

チェック	具体的な取組内容	取組段階の目安 導入 発展 継続的発展	重要度	取組	評価点
1	社内LAN、データベースなどの利用による文書の電子化に取り組んでいる	導入	2	2	4
1	会議用資料や事務書類の簡素化に取り組んでいる	導入	2	2	4
1	打合せや会議の資料などについては、ホワイトボードやプロジェクターの利用により、ペーパーレス化に取り組んでいる	導入	2	2	4
1	印刷物を作成する場合は、その部数が必要最小限の量となるように考慮し、残部が出ないように配慮している	導入	2	2	4
1	両面、集約などの機能を活用した印刷及びコピーを徹底している	導入	2	2	4
1	使用済み用紙、ポスター、カレンダーなどの裏紙が活用できる紙は可能な限り利用するよう工夫している	導入	2	2	4
1	使用済み封筒を再利用している	導入	1	2	2
1	コピー機は、枚数や拡大・縮小の誤りなどのミスコピーを防止するため、使用前に設定を確認するとともに、次に使用する人に配慮し、使用後は必ず設定をリセットしている	導入	2	2	4
1	書面による郵送に代えて電子メールを活用している	導入	2	2	4
	作成する書類は1枚にまとめる〃1枚ベスト運動〃に取り組んでいる	導入			—
	レンタルウエス（工業用ぞうきん）を利用している	発展			—
	出来型管理（品質）の基準に乗せ、より高い精度の自主基準を設定している	継続的発展			—
	資源が有効に利用できるよう同種の工事や施工が、同時期に行える配慮をしている	継続的発展			—
	建設材料の調達・発注量をなるべく正確に算出し、無駄を出さない工夫をしている	継続的発展			—
	製品に合わせたスプレーガンの利用で塗料や洗浄剤などの使用量を抑制している	継続的発展			—
	生産工程で使用する塗料や洗浄剤などのタンクを集約化することで使用量を抑制する	継続的発展			—
	材料加工時による端材などのロスを減らすため、材料取りや設計の見直しなどを行っている	継続的発展			—
	溶剤、洗浄剤、触媒といった補助材料を削減するため、原材料の仕様変更などを見直している	継続的発展			—
					—
					—

↑関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

3) 水の効率的利用及び日常的な節水

中項目結果 28 / 30

チェック	具体的な取組内容	取組段階の目安 導入 発展 継続的発展	重要度	取組	評価点
1	節水呼びかけの表示をしている	導入	2	2	4
1	手洗い時、洗い物においては、日常的に節水を励行している	導入	2	2	4
1	社用車の洗車を必要最小限に留め、洗車する場合は節水を励行している	導入	1	2	2
	トイレに水流し音発生器を取り付けるなど、トイレ用水を節約している	導入			-
	蛇口（水栓）をシャワー型にするなど水量を減らす工夫をしている	導入			-
1	事務所や建設現場で使用する水を再利用するための設備を設置し、活用している（中水利用）	発展	2	2	4
	冷凍機や冷水発生機などで使用する冷却水について、循環使用している	発展			-
1	バルブの調整により水量及び水圧の調節を図っている	発展	2	2	4
1	蛇口に節水こま（適量の水を流す機能を持つこま）を設置している	発展	2	1	2
1	水道配管からの漏水を定期的に点検している	発展	2	2	4
	ホースに手元バルブを取り付けて流し放しを防いでいる	発展			-
	自動水栓を取付けている	発展			-
	塗装やメッキに使用する洗浄水を多段（カスケード）使用している	継続的発展			-
	冷温水発生機、クーリングタワーなどの稼働に伴い使用される水の量が適正に保たれるよう設備の管理を行っている	継続的発展			-
1	雨水の貯留タンクや雨水利用施設の設置などにより、雨水利用を行っている	継続的発展	2	2	4
	雨水を地下浸透させる設備（浸透升など）を導入している	継続的発展			-
					-
					-

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

4) 化学物質使用量の抑制及び管理

中項目結果 0 / 0

チェック	具体的な取組内容	取組段階の目安 導入 発展 継続的発展	重要度	取組	評価点
	屋外での除草剤、殺虫剤の使用の削減に取り組んでいる	導入			-
	危険物に該当しない消毒剤を使用している	発展			-
	保管タンク、配管などの漏れ防止を実施している	発展			-
	洗浄薬品などは、交換頻度を見直しを行い、使用量の削減に取り組んでいる	発展			-
	燃料油、溶剤、塗料などの揮発を防止するなど、VOCの排出抑制に取り組んでいる	継続的発展			-
	有害物質のタンク、パイプ類は漏洩、拡散などを防止できる構造としている	継続的発展			-
	化学物質について、その種類、使用量、保管量、使用方法、使用場所、保管場所などを経時的に把握し、記録・管理している	継続的発展			-
	有害性の化学物質の排出量の計測、推定などを行っている	継続的発展			-
	有害性の化学物質の表示を徹底している	継続的発展			-
	化学物質の安全性に関する情報伝達のため、SDSにより管理している	継続的発展			-
	有害物質のタンク、パイプなどの保守・点検を定期的に行うなど適正管理に努めている	継続的発展			-
	<製造工程>レイアウト見直しによる使用量の削減をしている	継続的発展			-
					-
					-

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

2. 事業活動からのアウトプットに関する項目

大項目結果 68 / 68

1) 温室効果ガスの排出抑制、大気汚染などの防止

中項目結果 4 / 4

① 温室効果ガスの排出抑制

チェック	具体的な取組内容	取組段階の目安 導入 発展 継続的発展	重要度	取組	評価点
	都市ガス、灯油などの環境負荷の少ない燃料を優先的に購入、使用している	発展			-
	自社の車両の運転におけるムダな燃料使用をさけるため、ドライブレコーダーを導入し、車両の運転における燃料効率の改善を図っている	発展			-
	製品購入の際には、できるだけHFC（ハイドロフルオロカーボン）、PFC（パーフルオロカーボン）、SF6（六フッ化硫黄）などを使用していない製品を選ぶように配慮している	継続的発展			-
	HFC（ハイドロフルオロカーボン）、PFC（パーフルオロカーボン）、SF6（六フッ化硫黄）などを使用している製品を廃棄する際の回収に努めている	継続的発展			-
	燃料電池システムを導入している	継続的発展			-
	太陽光発電設備を導入し、太陽エネルギーを電気として利用している	継続的発展			-
	太陽熱温水器などを導入し、加熱した水を暖房や給湯に利用している	継続的発展			-
	マイクロ水力（発電規模100kW程度以下の水力発電）を導入している	継続的発展			-
	蓄電池やヒートポンプ蓄熱や水素などの蓄エネを行っている	継続的発展			-
	カーボン・オフセットに取り組んでいる商品やサービスを購入又は使用している	継続的発展			-
1	社用車について、ハイブリッド車や低燃費車、低排出ガス認定車、電気自動車、天然ガス自動車などの低公害車への切替えに取り組んでいる	継続的発展	2	2	4
					-
					-

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

②大気汚染物質の排出抑制

チェック	具体的な取組内容	取組段階の目安 導入 発展 継続的発展	重要度	取組	評価点
	設備の定期点検と予防保全の実施をしている	導入			-
	汚染物質除去装置を設置している	発展			-
	大気汚染の少ないプロセスや機器（低NOx燃焼機器など）を採用している	継続的発展			-
	日常的に大気汚染防止への配慮（燃焼管理など）を行っている	継続的発展			-
	大気汚染について、法令による基準より厳しい自主管理基準を設定し、その遵守に努めている	継続的発展			-
					-
					-

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

2) 廃棄物等の排出抑制、リサイクル、適正処理

中項目結果 48 / 48

①廃棄物の発生そのものを抑える取組

チェック	具体的な取組内容	取組段階の目安 導入 発展 継続的発展	重要度	取組	評価点
	ゴミ箱の削減、あるいは撤去している	導入			-
	ペーパータオルを廃止している	導入			-
1	使い捨て製品（紙コップ、使い捨て容器入りの弁当など）の使用や購入を抑制している	導入	2	2	4
	リターナブル容器（ビール瓶、一升瓶など）に入った製品を優先的に購入し、使用している	導入			-
1	再使用又はリサイクルしやすい製品を優先的に購入し、使用している	導入	2	2	4
1	詰め替え可能な製品の利用や備品の修理などにより、製品などの長期使用を進めている	導入	2	2	4
1	コピー機、パソコン、プリンターなどについて、リサイクルしやすい素材を使用した製品を購入している	導入	2	2	4
1	商品の購入時には、簡易包装のものを優先的に購入している	導入	2	2	4
	納品の際の梱包、包装資材などの削減に取り組んでいる	導入			-
	OA機器などの故障時には、修理可能かどうかをチェックし、可能な限り修理することで長期使用に努めている	導入			-
	マイ箸、マイカップ、マイ水筒運動を行っている	導入			-
	従業員などにマイバッグ運動を呼びかけている	導入			-
1	3S（整理・整頓・清掃）活動を実施している	導入	2	2	4
	帳票など紙類の削減について見直しを行っている	発展			-
	廃棄物の重量を正確に把握し、MFCA（マテリアルフローコスト会計）などに基づき廃棄物の原価を計算している	継続的発展			-
	クレームによる再工事等が発生しないよう施工等における品質管理に努めている	継続的発展			-
	廃棄物処理方法の変更をしたり、分別廃棄の徹底を行い、廃棄物を資源化できるようにしている	継続的発展			-
					-
					-

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

②リサイクルの促進

チェック	具体的な取組内容	取組段階の目安 導入 発展 継続的発展	重要度	取組	評価点
1	紙、金属缶、ガラスびん、プラスチック、電池などについて、分別回収ボックスの適正配置などにより、ごみの分別を徹底している	導入	2	2	4
1	シュレッダーの使用を機密文書などに限り、シュレッダー処理紙のリサイクルに努めている	導入	2	2	4
1	コピー機、プリンターのトナーカートリッジの回収ルートを確認し、リサイクルを図っている	導入	2	2	4
1	発生したごみは可能な限り、圧縮などを行い、減容している	発展	2	2	4
1	適切なリサイクル業者を特定・選定している	発展	2	2	4
	メタン発生防止のため、生ごみなどの分別・リサイクルや適正な焼却処分を極力行うことにより、有機物の埋立て処分を抑制している	発展			-
	生産工程から発生する金属くず、紙くず、廃液、汚泥などの回収・再利用のための設備やラインを設け、活用している	継続的発展			-
					-
					-

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

③産業廃棄物などの適正処理

チェック	具体的な取組内容	取組段階の目安 導入 発展 継続的発展	重要度	取組	評価点
	廃棄物焼却の際、塩化ビニールなど焼却に適さない物が混入しないよう徹底するとともに、ばい煙の処理、近隣環境への配慮などを行っている	発展			-
1	廃棄物を見える化している（量、金額、委託先など）	継続的発展	2	2	4
					-
					-

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

3) 排水処理

中項目結果 12 / 12

チェック	具体的な取組内容	取組段階の目安 導入 発展 継続的発展	重要度	取組	評価点	
1	排水への有害物質や有機汚濁物質の混入をできるだけ少なくしている	導入	2	2	4	4
	浄化槽の適切な維持管理を実施している	導入			-	-
1	水質汚濁の少ないプロセスや機器（廃液回収・再利用など）を採用している	継続的発展	1	2	2	2
1	排水処理装置を適切に設置している	継続的発展	1	2	2	2
1	水質汚濁に関連する法令による基準より厳しい自主管理基準を設定し、その達成に努めている	継続的発展	2	2	4	4
	油水分離槽を設置し、油の分離・回収に努めている	継続的発展			-	-
	年に数回程度油水分離槽の清掃を定期的に行い、油の流出防止に努めている	継続的発展			-	-
					-	-
					-	-

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

4) その他生活環境に係る保全の取組など

中項目結果 4 / 4

チェック	具体的な取組内容	取組段階の目安 導入 発展 継続的発展	重要度	取組	評価点	
	悪臭防止のため排出口の位置などの配慮を行っている	継続的発展			-	-
1	低騒音型機器の使用、防音・防振設備の設置などにより騒音・振動を防止し、日常監視及び測定を実施している	継続的発展	2	2	4	4
					-	-
					-	-

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

3. 製品及びサービスに関する項目

大項目結果 42 / 42

1) グリーン購入（環境に配慮した物品などの購入、使用など）

中項目結果 30 / 30

チェック	具体的な取組内容	取組段階の目安 導入 発展 継続的発展	重要度	取組	評価点	
1	再生資源の積極的利用に取り組んでいる	導入	2	2	4	4
1	コピー用紙、コンピューター用紙、伝票、事務用箋、印刷物、パンフレット、トイレトペーパー、名刺などの紙について、再生紙又は未利用繊維への転換を図っている	発展	2	2	4	4
1	節水型家電製品、水洗トイレなどを積極的に購入している	発展	2	2	4	4
	温室効果ガス排出係数の低い小売電気事業者から電力を購入している	継続的発展			-	-
	環境に配慮した物品などの調達に関する方針、基準などを作成し、それらに基づき物品リストを作成し、リストに基づき購入を行っている	継続的発展			-	-
1	環境ラベル認定など製品を優先的に購入している	継続的発展	1	2	2	2
1	省エネルギー基準適合製品を購入している	継続的発展	2	2	4	4
1	再生材料から作られた製品を優先的に購入、使用している	継続的発展	2	2	4	4
1	間伐材、未利用資源などを利用した製品を積極的に購入、使用している	継続的発展	2	2	4	4
	無漂白製品（衣料品など）、水性塗料などの環境への負荷の少ない製品を優先的に購入、使用している	継続的発展			-	-
	修理や部品交換が可能で、部品の再使用、素材の再生利用が容易な設計の製品を優先的に購入、使用している	継続的発展			-	-
	木材の調達に当たり、跡地の緑化、植林、環境修復が適切に行われていることに配慮している。又は跡地緑化などを考慮している	継続的発展			-	-
1	社用車について、ハイブリッド車や低燃費車、低排出ガス認定車、電気自動車、天然ガス自動車などの低公害車への切替えに取り組んでいる（再掲）	継続的発展	2	2	4	4
					-	-
					-	-

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

2) 施行・販売・提供する製品及びサービスにおける環境配慮

中項目結果 12 / 12

① 設計、計画などにおける取組

チェック	具体的な取組内容	取組段階の目安 導入 発展 継続的発展	重要度	取組	評価点	
	簡易包装の推進、多重包装の見直しなどを推進している	導入			-	-
	製品の生産数量と品目を分析するなどして、生産計画を平準化している	継続的発展			-	-
	自社製品及び社外から購入する部品などについて、想定される環境負荷のチェック表を作成している	継続的発展			-	-
	既存製品についても計画的に製品アセスメントなどを実施している	継続的発展			-	-
	自社独自の環境保全型商品などの開発に積極的に取り組んでいる	継続的発展			-	-
	製品の小型化、軽量化などにより、同一機能に対して資源使用量のミニマム化を指向している	継続的発展			-	-
	製品の長寿命化を指向している	継続的発展			-	-
	製品の使用過程でのエネルギーの削減を指向している	継続的発展			-	-
					-	-
					-	-

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

②出荷、輸送などにおける取組

チェック	具体的な取組内容	取組段階の目安 導入 発展 継続的发展	重要度	取組	評価点
	定期点検を着実に実施している				—
	製品などの輸送の際には、繰り返し利用できるパレットや通い箱を利用している	発展			—
	使用後の製品、容器包装などの回収・リサイクルに取り組んでいる	発展			—
1	エコドライブなど運転方法の配慮（急発進・急加速や空ぶかしの排除、駐停車中のエンジン停止など）を励行している	発展	2	2	4
	共用自転車を導入して、近距離の用務には社用車を使用せず、自転車を利用するように努めている	発展			—
	公共交通機関の利用などにより、社用車の使用削減に努めている	発展			—
	鉄道・海運を積極的に利用している	発展			—
1	タイヤの空気圧を定期的に確認し、適正值（メーカー指定の空気圧）を保つように努めている	継続的发展	2	2	4
1	排気ガスや騒音のレベルを抑えるため適正な車輛整備を行っている	継続的发展	2	2	4
	共同輸配送、帰り荷の確保に取り組んでいる（積載車の納品・引き取り時）	継続的发展			—
	発注・輸送（納品・引き取り）の計画化・平準化、行き過ぎた少量・多頻度輸送やジャスト・イン・タイムサービスの見直しを行っている	継続的发展			—
					—
					—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

③製品の回収・リサイクル

チェック	具体的な取組内容	取組段階の目安 導入 発展 継続的发展	重要度	取組	評価点
	フロン類の漏洩防止のための留意点など、製品に関する環境への負荷を低減するための消費者への情報提供を行っている	継続的发展			—
					—
					—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

④環境配慮型商品等の販売及び情報提供

チェック	具体的な取組内容	取組段階の目安 導入 発展 継続的发展	重要度	取組	評価点
	エコマーク及び自ら制定したマークや宣言などを製品やパンフレットなどに表示している	発展			—
	再生資源を使用した商品、再生可能な商品、繰り返し使える商品、省エネ・省資源型の商品、容器包装を簡素化した商品、環境ラベル認定の製品などを重点的に販売している	継続的发展			—
	上記商品の販売目標を定め、販売促進に積極的に取り組んでいる	継続的发展			—
	消費者などに環境配慮型商品に関する情報を積極的に提供している	継続的发展			—
	販売の際に環境配慮型製品の表示、製品アセスメントの結果の表示などを行っている	継続的发展			—
	外部から製品の環境負荷に関するデータの提供の依頼があった場合、協力している	継続的发展			—
	修理部品の長期的な確保に自主的に取り組んでいる	継続的发展			—
	製品の使用時や廃棄時の環境負荷の量をカタログなどに表示している	継続的发展			—
					—
					—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

4. その他

大項目結果 40 / 40

1) 生物多様性の保全と持続可能な利用のための取組

中項目結果 12 / 12

チェック	具体的な取組内容	取組段階の目安 導入 発展 継続的发展	重要度	取組	評価点
1	原材料の生産や採掘が、現地の生物多様性に悪影響を与えるものではないか、先住民の権利は尊重されているかなどについての情報を得ている	継続的发展	2	2	4
1	調達する原材料について、認証品（森林認証、漁業認証など）の活用を指向している	継続的发展	2	2	4
	事業活動が生物多様性に与える影響を公表している	継続的发展			—
1	事業所周辺の環境や生き物の保全活動（生息地の整備など）を通じ、事業活動を行う地域環境への配慮を行っている	継続的发展	2	2	4
	敷地内、壁面、屋上などの緑化を行っている（大気浄化、都市気象の緩和にも資する）	継続的发展			—
					—
					—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

2) 環境コミュニケーション及び社会貢献

①環境コミュニケーション

チェック	具体的な取組内容	取組段階の目安 導入 発展 継続的発展	重要度	取組	評価点
1	ウェブサイト上で環境に関する情報を提供する等、消費者などに対して情報提供や啓発活動を行っている	導入	2	2	4
	行政、地域住民、取引先などへ環境経営レポートを配布している	導入			-
1	事業活動に伴う重要な環境負荷、環境に関する主要な目標、環境担当者の連絡先などを公表している	導入	2	2	4
1	外部からの情報提供、公表の依頼に対する窓口を置いている	発展	2	2	4
1	意見聴取を定期的に行い、環境への取組に考慮している	発展	2	2	4
1	外部関係者の意見を聴取する窓口を設けている	継続的発展	2	2	4
	人権デューデリジェンスに取組み、情報開示を実施している	継続的発展			-
	従業員、顧客、地域社会などの利害関係者を含む人権方針の策定を行っている	継続的発展			-
	同業他社などによる循環型社会形成のための取組などの情報収集を行い、自社内で共有、取組内容の改良に活かしている	継続的発展			-
	SDG s の目標やターゲットを意識して、中長期の経営計画を策定している	継続的発展			-
					-
					-

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

②社会貢献

チェック	具体的な取組内容	取組段階の目安 導入 発展 継続的発展	重要度	取組	評価点
1	地域のボランティア活動などに積極的に参加し、協力や支援を行っている	継続的発展	2	2	4
1	環境に関する研究や活動を行っているサークルなどに対する支援、又は協働を行っている	継続的発展	2	2	4
	環境に関連する表彰制度を実施している	継続的発展			-
	大学に環境関係の寄附講座を開くなど、研究機関への支援を行っている	継続的発展			-
	環境に関する基金・団体の設置、既存の基金・団体を支援している（人材派遣、資金面での援助、従業員の給与の端数を集めた寄付、広報活動への協力など）	継続的発展			-
	環境関係の基金などへのマッチングギフト（従業員労働組合などの任意の寄付と同額の寄付を事業主として行うこと）を行っている	継続的発展			-
	他社とのBCP策定など、地域社会での連携を強化している	継続的発展			-
					-
					-

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

3) 施主・事業主における建築物の増改築、解体などに当たっての環境配慮

①設計者及び施工業者（工務店、建設会社など）への依頼・協力要請

チェック	具体的な取組内容	取組段階の目安 導入 発展 継続的発展	重要度	取組	評価点
	周辺の自然環境（動植物など）への影響を最小限に抑える、又は修復するなど環境に配慮した施工計画の提案を依頼している	継続的発展			-
	建築物の老朽化や運用の診断を行い、改善や環境保全設備の見直しを行っている	継続的発展			-
					-
					-

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

②既存建築物が及ぼす環境への影響を予防、低減するための方策

チェック	具体的な取組内容	取組段階の目安 導入 発展 継続的発展	重要度	取組	評価点
	建築物の耐久性の向上に取り組んでいる	継続的発展			-
	排水設備のメンテナンス、吹き付けアスベストの管理（特に解体時の事前除去）などを行っている	継続的発展			-
					-
					-

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。